

## 二国間 FTA の意義と問題点

杏林大学総合政策学部

馬田 啓一

### 1. 日本の重層的通商政策への転換

- ・スリー・トラック・アプローチ(Three-Track Approach)の推進  
Multilateral(WTO)、Regional(日中韓 FTA、東アジア FTA、APEC など)、  
Bilateral(二国間 FTA)の枠組みを重層的に活用
- ・出遅れた日本の FTA 戦略

### 2. FTA と WTO の関係

- ・FTA は Building Blocks(積み石)か、Stumbling Blocks(躓き石)か  
FTA の補完性重視 WTO+ の実現など
- ・WTO と FTA の棲み分け FTA の限界
- ・GATT 第 24 条、GATS 第 5 条との整合性  
締結優先の粗製乱造 ダーティ FTA の横行？

### 3. 二国間 FTA の落とし穴

- ・スパゲッティ・ボウル(Spaghetti Bowl)現象  
FTA ごとに異なるルール(例えば、原産地規則)による複雑化  
原産地規則が生産・調達の制約要因 日本企業の認識は？
- ・ASEAN の FTA ジレンマ  
二国間 FTA は域内経済一体化に逆行 自国エゴによる分裂のリスク  
ASEAN 域内の累積原産を認める措置の必要性

### 4. 日本の二国間 FTA 戦略の課題

- ・問われる日本の交渉力 農業分野がカギ
- ・東アジア共同体を視野に入れた二国間 FTA 締結交渉(点 線 面)  
FTA ゲームの主導権争い ASEAN+3 の誤算？
- ・APEC の FTA ベスト・プラクティス(Best Practice)への対応  
二国間 FTA とポゴール目標との整合性その他

以上